

社会主義のモデル国家を建設した朝鮮の偉人たち

ヨーロッパ・チュチェ思想研究学会理事
ミコラ・ポーリシュク

昨年創建 73 周年を迎えた朝鮮民主主義人民共和国は今日、強力な軍事力をもった社会主義のモデル国家として知られています。

金日成主席は社会主義国家の土台を築き、金正日総書記は自立経済と軍事力を強化し、今日には金正恩総書記が繁栄する強国を建設しています。

短い歴史的期間に、朝鮮人民がどのように植民地的従属から脱して最先端国家の隊列に加わるようになったかを知るためには、この国の歴史と国を導いた偉人たちについて知る必要があります。

金日成主席は、民族的受難の時期である 1912 年 4 月 15 日に生まれた幼年の時代から、すでに愛国心と愛国愛民を一生の座右の銘とし、それを実現するための革命の道に身を投じて世紀的な業績をなし遂げました。金日成主席は、20 星霜の抗日革命闘争を勝利へと導いて祖国解放をなし遂げ、新しい社会建設と苛烈な祖国解放戦争、二段階の社会主義革命と社会主義建設を輝かしい勝利へと導き、朝鮮に自主、自立、自衛の社会主義強国を建設しました。

金正日総書記は、金日成主席の革命思想を定式化し、それを自主時代の指導思想として発展豊富化しました。金正日総書記は、朝鮮労働党を人民大衆の中に深く根をおろし、人民と渾然一体をなした不敗の革命的党として強化発展させました。20 世紀の末、世界の社会主義体制が崩壊し、帝国主義連合勢力の孤立圧殺策動が強化されていた時期、金正日総書記は独創的な先軍政治を全面的に実施して、国と民族の最高利益である社会主義を守り、苦難の行軍、強行軍を結束し、社会主義強国建設の強固な土台を築きあげました。

現下の政治軍事情勢と革命発展の要求に即して、経済建設と核武力建設の並進路線が示されました。その後、短期間に国家核武力建設の歴史的偉業が完遂され、国の国防力の発展では大きな変革が起こり、国家と人民の安全と未来が頼もしく保証されました。

2011 年 12 月、金正日総書記が逝去した後、朝鮮人民は金日成主席と金正日総書記を永遠な領袖として高く奉じ、金日成・金正日主義を指導思想とし、金日成主席と金正日総書記の思想と偉業をそのまま継承した金正恩総書記の指導のもとに、領袖の遺訓貫徹戦に勇躍に立ち上りました。

党と国家、武力の最高首位に高く推戴された金正恩総書記は、朝鮮革命の万年

の大計の戦略を示し、革命と社会主义建設の実践的綱領、不敗の戦略戦術の方針を全面的に示し、非凡な指導芸術で社会主义偉業を勝利の一途へと導いています。

金正恩総書記の賢明な指導のもとに、朝鮮民主主義人民共和国では政治と経済、軍事と文化のすべての分野で全盛期が開かれました。

革命と社会主义建設のすべての分野で、人民大衆第一主義が確実に具現され、共和国の政治的・思想的地位が強化され、いかなる難関と挑戦も克服できる不敗の力が備蓄され、人民大衆中心の社会主义の優越性と生命力が明白に誇示されています。

建設の大繁栄期が到来して黎明通りと未来科学者通り、三池淵市、陽徳温泉文化休養地、科学技術殿堂、柳京院、人民屋外スケートリンク、紋繡遊泳場、馬息嶺スキー場など、人民の幸福の搖籃と文化情操生活基地、時代を代表するスケールの大きい建築物が林立するようになりました。

党の科学技術重視路線を徹底的に貫徹して、宇宙開発とその他の最先端科学研究部門で大きな成果を収め、経済発展を促す科学技術成果と発明もしました。

先制的な非常防疫態勢を頼もしく維持して、連続的な天災による悪結果を取り除くための被害復旧闘争を力強くくり広げて、国家の安全と人民の安寧を守り抜きました。

金正恩総書記が着工の鍼入れをした現代的な平壤総合病院の建設も、人民の健康を守るためのものです。

金正恩総書記の周りに固く結束した朝鮮人は、自らの指導者から金日成主席と金正日総書記の思想と意志をそのまま見ながら、金日成・金正日主義を指導指針とし、朝鮮労働党第8回大会で示された課題を貫徹し、社会主义偉業の遂行で新たな勝利を達成するために力強く前進しています。